

図と表で理解する マーケティング・データ分析 (統計・多変量解析法基礎) 習得セミナー

【旧名称：統計・多変量解析法基礎セミナー】

～ リサーチャーおよびビジネスパーソンとして必須の各種調査データの集計、分析スキルを習得し、数値の背景にある本質を読み取れる人材を育成する ～

会期	2026年10月28日(水)～29日(木) 2027年3月11日(木)～12日(金)	各回とも2日間 10:00～17:00
会場	日本能率協会 研修室 (東京都港区芝公園)	
対象	<ul style="list-style-type: none"> 各企業のマーケティング部門、調査部門、商品企画部門、広告・宣伝部門などのスタッフで、これから統計・多変量解析の理解を深めたい方々 本テーマにご関心のある方々 	
講師	大竹 延幸氏 SurveyStat Solution 主宰 前川 法夫氏 楽天インサイト(株) リサーチ統括部 マーケティングリサーチャー 中山 厚穂氏 東京都立大学 経済経営学部 教授	

※当日は使い慣れた電卓をお持ちください。
 ※2日目は各自PCをご持参ください。持参できない場合は、貸し出しします。
 ※2日目はRというソフトを使用します。事前にお送りする課題を取り組んだ上でご参加することをおすすめします。

■ このような方におすすめです

- ◆ データから読み取った情報を、他人にわかりやすく理解してもらいたい
- ◆ 体系的なデータ解析を、ある程度把握した上での業務への適応したい
- ◆ 統計学を顧客の絞り込みや戦略立案に有効に活用したい
- ◆ チームの目標設定やそれを達成するための戦略を策定するのに必要なスキルが足りない
- ◆ 多くあるデータの取捨選択に悩んでいる

■ ご受講にあたっての前提知識・レベル感・経験値

- [1日目]**
- 日常業務でデータを取り扱っている。(売上を集計している、売上平均を算出している、不良品数(率)を集計している程度)
 - 日常業務で相関係数を計算したことがある。(計算したことはないが、相関係数とはどのような指標か漠然とだがわかるか程度の知識は必要)
- [2日目]**
- 1日目の相関係数の話は2変量データ、それを多変量データに適用するという内容で、1日目をベースにお話ししますので、1日目が理解できていれば問題ありません。(パソコンは必須ではありません。可能な方は、パソコンをご持参ください。パソコンは貸与もできます。)

■ プログラム

各日 10:00～17:00 (昼休み 12:00～13:00)

1日目	2日目
<p>1 リサーチ・データの種類と尺度分類</p> <p>(1) 1次データと2次データ (2) 構造化データと非構造化データ (3) 測定(回答形式)と尺度分類(水準)</p> <p>2 基本統計量・統計的仮説検定の考え方</p> <p>(1) EDA(探索的データ分析)によるデータの確認 (2) 統計的仮説検定の原理と考え方</p> <p>学習のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 探索的データ分析でデータの内容を確認、チェックする • 統計的仮説検定の原理を理解する。カイ二乗検定、t検定の原理を理解する。 <p>3 2変量間の関連</p> <p>(1) 質的データの連関と関連 (2) 相関係数</p> <p>4 多変量解析の基礎 (多変量解析とは)</p> <p>(1) 予測・要因分析 (2) 構造・分類分析</p> <p>学習のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多変量解析の基礎を学ぶ • 重回帰分析、主成分分析、コレスポンデンス分析、K-means (Fuzzy C-means)、コンジョイント分析 など 	<p>5 統計的仮説検定を使う</p> <p>(1) 統計的仮説検定の実際(エクセル使用) (2) 結果の解釈</p> <p>学習のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • エクセルの統計関数を使い実際のアウトプットを見て解釈する <p>6 予測・要因分析を使う (解釈する)</p> <p>(1) 回帰分析の実際(エクセル使用) (2) Rを使った回帰分析の実際 (3) 出力物の解釈の実際</p> <p>学習のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • エクセルのデータ分析を使い実際のアウトプットを見て解釈する(重回帰分析) • Rのアウトプットを見て解釈する(ダミー変数による重回帰分析) <p>7 構造分析を使う (解釈する)</p> <p>(1) Rを使った構造分析の実際 (2) アウトプットの解釈の実際</p> <p>学習のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • Rのアウトプットを見て解釈する • 主成分分析、コレスポンデンス分析 <p>8 分類分析を使う (解釈する)</p> <p>(1) Rを使った構造分析の実際 (2) アウトプットの解釈の実際</p> <p>学習のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • Rのアウトプットを見て解釈する • K-means、Fuzzy C-means <p>9 マーケティング課題と多変量解析</p> <p>(1) マーケティング課題解決にどう結びつけるか</p> <p>学習のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> • 様々なマーケティング課題と多変量解析がどのように対応するかを理解する <p>10 データ分析の今後/質疑応答</p> <p>(1) データ分析の今後と向かう方向</p>

※プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

※最新の参加申込規定、参加料はお申込みページにございますので、ご確認、同意のうえお申込みください。



マーケティング・データ分析 (統計・多変量解析法基礎) 習得セミナー

講師紹介
(敬称略)

大竹 延幸

SurveyStat Solution 主宰

立教大学社会学研究科博士課程前期課程修了(社会学修士)
 アパレル業界を経て現在に至る。日用品から耐久消費財までの消費財、農業、工業生産財といった幅広い業界に対応するリサーチャー。マーケティング課題解決型リサーチの企画、およびCSI、ブランド評価といったマーケティング課題の統計モデル化を得意とするリサーチのスペシャリスト。専門社会調査士。

【著書】「社会調査の実際」(学文社)、
 「課題解決型マーケティング・リサーチ」(生産性出版)

【主要論文】
 「Conjoint分析を利用した価格属性の問題点」(東洋大学社会学部紀要)、「支出意識に及ぼす消費目的の影響—確認的因子分析と多重指標モデルによる男女比較—」(東洋大学社会学部紀要)、「支出意識に及ぼす消費目的の影響~多重指標モデルによる時系列分析~」(東洋大学社会学部紀要)

前川 法夫

楽天インサイト(株) リサーチ統括部

マーケティングリサーチャー

関西大学大学院社会学研究科社会心理学専攻修士課程修了
 マーケティング・リサーチに基づき、生活者の視点からマーケティング戦略を立案し、マーケティング・パートナーとしてクライアントをサポートするリサーチャー。消費財やサービス、公共など幅広い業種・サービスに対応する。
 現在は、マーケティング・リサーチのセミナーを担当。

【分担執筆】
 「課題解決型マーケティング・リサーチ事例編」「強いブランドの開発と育成」

中山 厚穂

東京都立大学 経済経営学部 教授

立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻 博士課程後期課程単位取得満期退学。

立教大学経営学部助手・助教、長崎大学経済学部准教授を経て、2010年10月より現職。

博士(社会学)。統計科学、行動計量学、消費者行動論。専門社会調査士。

【著書】

「Excel ソルバー多変量解析-因果関係分析・予測手法編-」
 「Excelソルバー多変量解析-ポジショニング編-」(日科技連出版社)、「特許情報のテキストマイニング」(ミネルヴァ書房、共著)、「スタンダード 文科系の統計学」(培風館、共著)

【主要論文】

「The Classification and Visualization of Twitter Trending Topics Considering Time Series Variation.」(Data Science - Innovative Developments in Data Analysis and Clustering)、「製品時系列を考慮したTwitter上のトピック分類」(データ分析の理論と応用)

お申し込みについて

定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

1



パソコン(各種検索サイト)からダイレクトで

セミナーID(半角数字) **JMA 100255** で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申し込みが難しい方は
 JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。
 TEL : 03(3434)6271

2



スマートフォン
 タブレットから



参加料 (消費税込)

一般社団法人日本能率協会法人会員	114,400円/1名
上記会員外	126,500円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
 ※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのWebページ(<https://school.jma.or.jp/>)に掲載しておりますのでご確認、ご同意のうえお申し込みください。

参加定員 20名

※開催催行最少人数に満たない場合は中止する場合がございます。

プログラム内容に関するお問い合わせ先(企画担当)

一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター
 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL : 03(3434)1955(直通)

会員制度のご案内

一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。
 是非この機会にご入会をご検討ください。
 詳細は <https://www.jma.or.jp/membership/>

会場開催の会場案内

会場地図は、参加証送付時にご案内いたします。

日本能率協会 研修室 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

キャンセル・参加日程変更の規定

キャンセルのご連絡日	キャンセル料	日程変更手数料 *2026年4月1日~2027年3月31日 期間の開催一回限り変更受付
開催15日前~開催8日前 (開催当日を含まず)	参加料の10%	無料
開催7日前~前々日 (開催当日を含まず)	参加料の30%	通い: 5,500円(税込)
開催日 前日	参加料の全額	通い: 7,700円(税込)
開催日 当日	参加料の全額	*日程変更は受付しておりません。 参加料の全額を申し受けます。

※日程変更手数料は、消費税を含みます。

無断でご欠席された場合も参加料の100%を申し受けます。

参加日程の変更については、1回に限り可能といたします(但し、2026年4月1日~2027年3月31日会期に限る)。

開催7日前より、日程変更手数料が発生いたしますのでご注意ください。

なお、開催当日の日程変更は受付しておりません。

※一部のセミナーにおいて上記規定と異なる場合がございますので、ご確認のうえお手続きをお取りいただきますようお願い申し上げます。

申込に関するお問い合わせ先(参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)

JMAマネジメントスクール TEL : 03(3434)6271

電話受付時間 月~金曜日9:00 ~ 17:00 ただし祝日を除く

E-mail : seminar@jma.or.jp FAX : 03(3434)5505

日本の経営革新

×
学びと成長



日本能率協会(JMA)は、企業経営の要である「ひと」の力を最大にするを通じ、新たな経営・組織づくりに貢献します。

社長・役員向けプログラムのほか、次世代経営者・幹部育成のための長期プログラム、役職別の能力開発研修、人事・教育、マーケティング、営業、開発・設計・技術、生産、購買・調達など専門領域のスキルアップ研修など年間2,000本以上の公開型研修を開催しています。また、企業・自治体・学校に向け、個別課題解決支援も行っていきます。

JMAが選ばれ続ける4つの理由

1 現場課題に合わせた
プログラム内容

2 実践力のつく演習

3 研修結果を
継続させる仕組み

4 多様な業界、業種と交流